

法情報の調べ方

《法-0》

＜本文中の記号について＞
【 】：請求記号
〈 〉：資料のある場所
(館内)：館内閲覧のみ

法情報（法令・判例等）の調べ方や各ツールの特徴をご紹介します。

目次

1. 分野ごとの調べ方
2. 図書の特徴
3. 官報・雑誌の特徴
4. インターネット情報の特徴
5. オンラインデータベースの特徴

1. 分野ごとの調べ方

法情報には、分野ごとに適切な調べ方があります。まずは、求めている情報が何なのかを整理してから、調べる資料を決めることをおすすめします。

＜図書館でよく聞かれる法情報とおすすめ資料＞

①法令の条文を調べたい

■現行法令(現在有効な法令) [法-1]

- ・『現行法規総覧』(加除式資料)
- ・『e-Gov法令検索』(インターネット)
- ・『官報』
→公布後、改正がある場合は注意が必要。
- ・最新の図書、法律雑誌

■旧法令(廃止あるいは効力を失った法令) [法-2]

- ・古い『官報』
→特に制定時の条文を調べたい時に有効。
- ・過去の『六法』や図書、法律雑誌
→特定の年代を調べたい時に有効。
- ・『D1-law.com』(オンラインデータベース※)
- ・『日本法令索引』(インターネット)

②法令の改正を調べたい [法-2]

- ・『現行法規総覧』
→各法令の冒頭に「沿革」の記載あり。
- ・『日本法令索引』(インターネット)
- ・『D1-law.com』(オンラインデータベース※)

③法令の解説や条文の解釈を調べたい

- ・図書
→「コンメンタール」、「逐条解説」、「条解」、「注釈」等に「法令名」を加えてキーワード検索するとよい。
- ・法律雑誌
→新法令・重要法令は特集記事がある場合が多い。

④判例や判例の解説調べたい [法-3]

- ・図書
→「判例集」、「判例解説」、「判例」等に「法令名」を加えてキーワード検索するとよい。
- ・『D1-law.com』(オンラインデータベース※)
- ・法律雑誌
→図書等の出典情報やオンラインデータベース等で巻号を特定してから探すと効率的。

※オンラインデータベースは館内の専用端末でご利用いただけます。詳しくはカウンター職員にお尋ねください。

※ [法-1]等の表示のあるテーマは、個別のパスファインダーを作成しています。そちらもご参照ください。

○法情報の調べ方に関する主な参考図書

- ・『リーガル・リサーチ 第5版』(いしかわまりこ／著、藤井康子／著、村井のり子／著、指宿信／監修、齊藤正彰／監修 日本評論社 2016)【320.7/14/016】〈法律〉
法学分野の文献や資料の調査、収集(＝リーガル・リサーチ)において、重要な法令集、判例集、論文集等の基本知識、事典や目録といった調査ツールを紹介している。
- ・『法情報の調べ方入門 補訂版』(ロー・ライブラリアン研究会／編 日本図書館協会 2017)【010.8/21/28.017】〈公4〉
法情報についての知識とリサーチのテクニック、多様な資料の使い方をわかりやすく解説。

2. 図書の特徴

- ①刊行時点の情報を探すのに最適
- ②法令の改正や判例の変更等に伴って改版がある
- ③図書館では「日本十進分類法(NDC)」で分類された数字の順に並んでおり、類書を見つけやすい

○主な図書の種類

- ・『現行法規総覧』(第一法規出版 加除式)〈公2〉(館内)
日本の現行法令を集大成した資料。加除式(内容の変更部分を差し換える)資料のため、常に最新の状態を保っている。最新の条文のほか、改正の沿革等も記載がある。
- ・『六法全書』(有斐閣 年刊)【320.9/7/】〈最新号は法律、バックナンバーは書庫〉(最新号のみ館内)
1990年版以降を所蔵。刊行時点で有効な法令のうち、重要なものを収録。収録の法令については、刊行時点で有効だった条文を全て掲載している。
- ・逐条解説書
法令の条文一条ずつの意味を解説した資料をいう。「コンメンタール」「逐条」「条解」「注釈」「注解」とも表記する。該当の条文に関連する判例等を掲載している場合もある。
- ・判例集
判例の本文を集積した資料をいう。判例本文は必ず掲載されるが、資料によっては解説が見つからない場合がある。
定期的な発行される判例集は、図書館では雑誌として所蔵していることが多い。(例:『最高裁判所判例集』)
- ・判例解説(判例評釈)書
判例の解説や評論を収録した資料をいう。当館では主にテーマごとの判例解説書を購入している。テーマごとの解説書は、過去から出版年までの重要判例を厳選して収録していることが多い。

3. 官報・雑誌の特徴

- ①速報性が高く、時事的な情報を探すのに最適
- ②重要な法令・判例は特集記事や増刊号等で詳細に解説されることがある
- ③バックナンバーにより過去の情報を探すこともできる
- ④現物のみでは検索性に欠けることがあるが、各種データベースで検索が可能な場合も多い

○官報の特徴

国の法令について、公布時点の全条文を調べたい場合に最適。月ごとに総目次がある。法令が改正した場合には、改正部分のみが掲載される。

原紙のほか、以下の媒体でも閲覧や検索が可能。

・「インターネット版官報」(閲覧のみ)

→「4. インターネット情報の特徴」で紹介

・「官報情報検索サービス」(閲覧・検索)

→「5. オンラインデータベースの特徴」で紹介

○主な法律雑誌の特徴と検索ツール

法令・判例に関する解説・論考を調べたい時に役立つ。当館で所蔵している主な法律雑誌は以下のとおり。

・「ジュリスト」(有斐閣 月刊)【145】

ビジネス関係の法令の特集と判例記事を中心に掲載。別冊の「判例百選」シリーズ、増刊の「重要判例解説」シリーズ等、判例に特化したものも発行されている。

・『法学セミナー』(日本評論社 月刊)【268】

法学を学ぶ学生向けに、時事的な特集や判例の解説記事を掲載。入門企画も多い。

・『法律時報』(日本評論社 月刊)【269】

法律関係者、専門学・法曹人向けの専門誌。時事的な法律問題の特集や論説を掲載。

・『判例時報』(判例時報社 月3回発行)【238】

判例関係情報や法的時事を掲載。特に判例については全文掲載を基本とし、解説がつくものもある。

・『判例タイムズ』(判例タイムズ社 月刊)【239】

法律の実務家(弁護士・裁判官・検察官など)向けに、全国の判例情報や論文が掲載される。

掲載記事の検索は以下のデータベースで可能です。

・「NDL ONLINE」(国立国会図書館)

<<https://ndlonline.ndl.go.jp/>>

国立国会図書館の所蔵を検索できるシステム。約2万4千誌(R1.11現在)の雑誌記事も採録しており、記事タイトル・掲載誌・著者・キーワード等で検索することが可能。

・「D1-Law.com」(第一法規)

→「5. オンラインデータベースの特徴」で紹介

このほか、各雑誌の出版社のホームページで、目次情報等を検索できる場合があります。

4. インターネット情報の特徴

- ①特定分野に特化したページ、データベースがある
- ②検索機能があることが多く、情報を探しやすい
- ③収録範囲に注意が必要な場合がある
- ④予告なしに編集・削除されることがある

・「e-Gov法令検索」(総務省)

<https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0100/>

現在有効な法令を検索・閲覧することができる。改正前の条文は閲覧できない。また、平成29年4月1日以降に廃止された法令は一覧があり、廃止時点の条文が閲覧可能。

・「日本法令索引」(国立国会図書館)

<<http://hourei.ndl.go.jp/SearchSys/>>

明治19年2月以降の省令以上の法令について、制定・改正・廃止等の経過情報を一覧で確認することができる。条文の収録はないが、他のデータベースと連携しており、リンク先で条文を確認できる場合もある。

・「栃木県例規集」(栃木県)

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/b05/pref/reiki/reiki/reiki_menu.html>

栃木県が定める条例や規則を検索・閲覧できる。最新の例規を公開しており、過去の情報は閲覧できない。

・「インターネット版官報」(独立行政法人国立印刷局)

<<https://kanpou.npb.go.jp/>>

平成15年7月15日以降の法律・政令等、平成28年4月1日以降の政府調達、直近30日の官報全文を公開している。年月での絞り込みは可能だが、その他の検索機能はない。

5. オンラインデータベースの特徴

- ①収録されている情報を網羅的に検索できる
- ②調査対象(期間・雑誌名等)を絞り込めない場合や、出典情報が曖昧な場合に最適
- ③独自情報が収録されていることがある

・「官報情報検索」(独立行政法人国立印刷局)

昭和22年5月3日以降から現在までの官報について、日付やキーワードでの検索が可能。本文をテキストあるいは画像形式で閲覧できる。掲載号やページ数の特定にも役立つ。

・「D1-Law.com」(第一法規)

法情報総合データベース。現行法令、旧法令、判例、各種法律資料の文献情報等、幅広い情報をまとめて検索することができる。各機能は相互に連携しており、例えば法令を検索してからその法令に関わる判例を探したり、ある判例の掲載資料や類似判例を特定したりするのに役立つ。

どちらも館内の専用端末でご利用いただけます。詳しくはカウンター職員にお尋ねください。

栃木県立図書館 調査相談課
レファレンスサービス担当

火-金 9:00-19:00 土日祝 9:00-17:00
〒320-0027 栃木県宇都宮市埜田1-3-23
URL : <http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp/>
TEL : 028-622-5112 FAX : 028-624-7855
E-Mail : chousaka@lib.pref.tochigi.lg.jp

栃木県立図書館では、さまざまなテーマや課題に関する資料・情報の調べ方、入手方法に関する相談に応じています。お気軽にご相談ください。
メール・FAX・電話でもお受けします。

